

平成 24 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人三重県下水道公社

< 目 次 >

1 活動概要	1
2 会社の概要	
(1) 設 立	1
(2) 本部と浄化センターの所在地	1
(3) 目 的	1
(4) 事業内容	2
(5) 基本財産	2
(6) 役員及び評議員	2
(7) 組織体制	3
(8) 理事会等の運営状況	4
3 事業実施報告	
(1) 自主事業	
ア 普及啓発事業	6
イ 研修事業	7
ウ 下水道排水設備工事責任技術者認定事業	7
(2) 受託事業	
ア 流域下水道の維持管理に関する業務	7
イ 流域下水道汚泥処理業務	10
ウ 普及啓発施設管理業務	10
エ 普及啓発業務	10

1 活動概要

平成24年度においても、三重県流域下水道施設における指定管理者として、県が設置する5箇所の浄化センターの安定的な維持管理を行うとともに、コスト抑制運転の継続に努めてまいりました。

年間の流入水量は、68,851,823 m³（対前年比 103.0%）で、処理費用（汚泥処分費及び維持管理経費）を流入水量で除した処理単価は、50.19 円/m³（対前年比 102.0%）でありました。

汚泥処理については、43,736.78 t（対前年比 102.9%）を処理しましたが、そのほぼ全量をセメント原料としてリサイクルしていることから、県の環境施策である循環型社会の構築に寄与しました。

なお、危機管理の向上を図るため、継続して水質監視パトロールを行うとともに、下水道管路の水質調査及び県管路と流域市町の接続点における水質分析を当公社の水質分析センターで行うことにより、悪水流入の未然防止活動に努めました。

また、県から受託している普及啓発施設「高須町公園オートキャンプ場」について、利用件数は1,081件（前年比 105.9%）で僅かながら増加となりました。

さらに、公益法人制度改革に基づく新たな公益法人へ移行するため、平成24年10月15日付けで三重県へ公益認定申請を行い、平成25年3月21日付けで公益認定を受け、平成25年4月1日付けで「公益財団法人三重県下水道公社」へ移行いたしました。

2 公社の概要

(1) 設 立 昭和62年7月1日

(2) 本部と浄化センターの所在地

名 称	位 置	共用開始（開設） 年月日
本部 総務課 水質分析センター	〒515-0104 松阪市高須町 3922 番地	— 平成 21 年 4 月 1 日
北部浄化センター	〒510-8114 三重郡川越町大字亀崎新田 80 番地の 2	昭和 63 年 1 月 1 日
南部浄化センター	〒510-0103 四日市市楠町北五味塚 1085 番地の 18	平成 8 年 1 月 1 日
雲出川左岸浄化センター	〒514-0301 津市雲出鋼管町 52 番地の 5	平成 5 年 4 月 1 日
松阪浄化センター	〒515-0104 松阪市高須町 3922 番地	平成 10 年 4 月 1 日
宮川浄化センター	〒516-0001 伊勢市大湊町 1126 番地	平成 18 年 6 月 1 日
高須町公園 オートキャンプ場	〒515-0104 松阪市高須町 3227 番地の 8	平成 10 年 4 月 17 日

(3) 目 的

公社は、下水道に関する知識の普及及び啓発等の事業を行うとともに、三重県が設置する流域下水道の維持管理業務を受託することにより、三重県及び県下市町の下水道事業の振興を図り、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。

(4) 事業内容

- ア 下水道知識の普及及び啓発に関すること
- イ 下水道技術者の養成に関すること
- ウ 下水道技術の調査及び研究に関すること
- エ 下水道事業の技術的業務の協力に関すること
- オ 流域下水道の維持管理業務の受託に関すること
- カ 下水道の水質分析等の受託に関すること
- キ その他公社の目的を達成するために必要な事業

(5) 基本財産 56,000千円

出捐者	出捐金(千円)	内 訳	出捐割合
四日市市	4,014	北部3,335、南部679	50%
桑名市	3,831	北部	
いなべ市	729		
東員町	529		
菰野町	837		
朝日町	243		
川越町	496		
鈴鹿市	4,281		
亀山市	1,040	雲出川左岸4,000、松阪594	
津市	4,594		
松阪市	3,211		
多気町	195	松阪	
伊勢市	3,216	宮川	
明和町	400		
玉城町	384		
三重県	28,000		50%

(6) 役員(理事、監事)及び評議員(平成25年3月31日 現在)

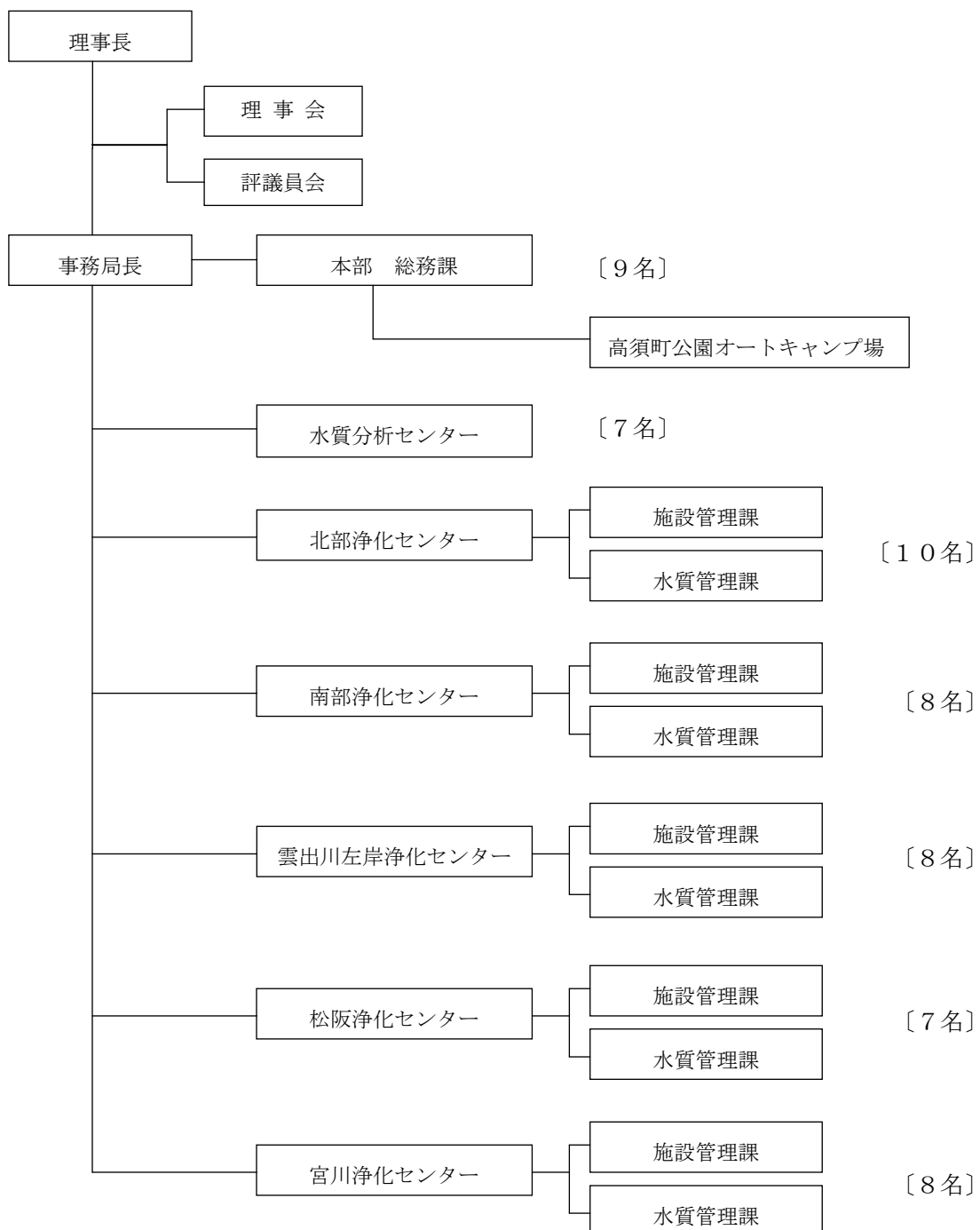
【役員 任期:平成23年4月1日から平成25年3月31日まで】

役職名	氏 名	所属及び職名
理事長	北川 貴志	(財)三重県下水道公社
副理事長	石川 雅己	桑名市上下水道事業管理者
理事	東畑 正和	津市下水道部長
理事	坂倉 篤	四日市市上下水道局管理部長
理事	本多 秀夫	伊勢市上下水道部長
理事	太田 宣好	松阪市上下水道部技術次長
理事	草川 喜雄	鈴鹿市都市整備部長
理事	小川 庸輔	川越町上下水道課長
理事	水谷 優兆	三重県県土整備部流域整備担当次長
理事	岡本 弘毅	三重県環境生活部環境担当次長
監事	松尾 弘	菰野町下水道課長
監事	松下 裕也	税理士

【評議員 任期：平成 23 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで】

役職名	氏 名	所属及び職名
評議員	林 拙 郎	三重大学名誉教授
評議員	安 藤 三 成	いなべ市水道部長
評議員	高 士 和 也	亀山市上下水道部長
評議員	藤 井 浩 二	東員町建設部長
評議員	矢 野 光 芳	朝日町上下水道課長
評議員	歌納木 実 生	多気町上下水道課長
評議員	潮 谷 剛	明和町上下水道課長
評議員	東 博 明	玉城町上下水道課長

(7) 組織体制



(8) 理事会等の運営状況

ア 理事会

	事	項
平成24年		
4月 1日	書面表決 第1号議案	理事長の選任について
5月17日	書面表決 第1号議案	評議員選定委員会に推薦する最初の評議員候補者の一部変更について
5月30日	第56回理事会 第1号議案 報告事項1 報告事項2	平成23年度事業報告及び収支決算並びに財産目録の承認について 評議員選定委員会の結果について 公益認定申請の概要について
8月17日	第57回理事会 第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 報告事項1	「定款の変更の案」の策定について 諸規程の制定について 新法人の理事及び監事就任予定者の選任について 代表理事の選定について 「定款の変更の案」の変更について 育児・介護休業等に係る関係諸規程の一部改正及び規程の制定について 公益認定申請書について
平成25年		
2月15日	第58回理事会 第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項1 報告事項2 協議事項1	債務負担行為の設定について 平成25年度事業計画及び収支予算(案)について 諸規程の改正について 経営計画(案)について 平成24年度収支決算見込みの概要について 公益財団法人への移行について 水質監視パトロール業務の見直しについて
3月 8日	書面表決 第1号議案	債務負担行為の設定について

イ 評議員会

	事 項
平成24年	
5月15日	書面表決 第1号議案 評議員選定委員会に推薦する最初の評議員候補者の一部変更について
5月28日	第27回評議員会 第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算並びに財産目録の承認について 報告事項1 評議員選定委員会の結果について 報告事項2 公益認定申請の概要について
8月10日	第28回評議員会 第1号議案 「定款の変更の案」の策定について 第2号議案 諸規程の制定について 第3号議案 新法人の理事及び監事就任予定者の選任について 第4号議案 代表理事の選定について 第5号議案 「定款の変更の案」の変更について 第6号議案 育児・介護休業等に係る関係諸規程の一部改正及び規程の制定について 報告事項1 公益認定申請書について
平成25年	
2月 5日	第29回評議員会 第1号議案 債務負担行為の設定について 第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算（案）について 第3号議案 諸規程の改正について 報告事項1 平成24年度収支決算見込みの概要について 報告事項2 公益財団法人への移行について 協議事項1 経営計画（案）について 協議事項2 水質監視パトロール業務の見直しについて
3月 8日	書面表決 第1号議案 債務負担行為の設定について

ウ 最初の評議員選定委員会

平成24年	
5月18日	第1号議案 公益財団法人移行後の最初の評議員の選任について

3 事業実績報告

(1) 自主事業

ア 普及啓発事業

(ア) 下水道ポスターコンクール

次世代を担う児童からポスターを募集し、その作品を活用して循環する資源である水の性質や家庭で出来る水環境対策の啓発を行うことにより、下水道への理解と協力を深めていただくため、下水道ポスターコンクールを開催しました。

募集作品 : 絵画ポスター

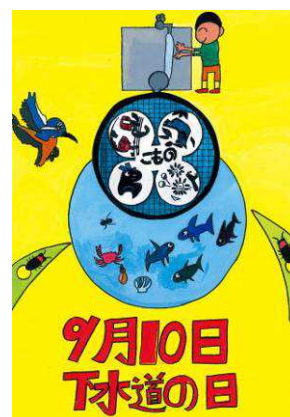
応募対象 : 県下小学生 (4年生から6年生)

応募作品数 : 60校 530点 (平成23年度 : 62校 637点)

入賞 : 三重県知事賞 (1作品)、三重県下水道公社理事長賞 (1作品)
浄化センター所長賞 (5作品)、入選 (15作品)



三重県知事賞



三重県下水道公社理事長賞

(イ) 浄化センター見学会

通年事業として、浄化センターの見学会を実施しました。

平成24年度は5,298名(対前年比:109.5%、23年度:4,836名)の方々が来場し、浄化センターの仕組みや下水道の役割などについて理解を深めていただきました。

【見学者来場状況】

	北部	南部	雲出川左岸	松阪	宮川	合計
行政関係者	15	86	30	18	117	266
学校関係者	1,800	1,151	470	344	523	4,288
一般	41	110	14	156	423	744
合計	1,856	1,347	514	518	1,063	5,298

(ウ) インターンシップ研修生の受入れ

三重県立四日市中央工業高等学校から、高校生に将来設計などを考える機会を提供する場として、インターンシップの依頼があり、11月20日から22日の3日間、北部浄化センターに同校化学工学科から5名の研修生を受け入れ、水質分析業務の体験実習を実施しました。なお、研修後、同校からは今後の進路を考えるうえで貴重な経験が得られた旨の評価が得られました。

イ 研修事業

(ア) 市町下水道担当職員研修

下水道に携わる市町職員が下水道管理に係る基礎知識を習得することを目的として、市町職員研修会を松阪浄化センター及び南部浄化センターにおいて開催し、10市町から延べ93名の参加がありました。

	開催日	研修テーマ
第1回	10月30日 10月31日	初心者のための汚水処理システムの概要と終末処理場施設見学 ○ 汚水処理システムと微生物のはたらきについて ○ 終末処理場における汚水処理の実際（施設見学）
第2回	11月20日 11月21日	終末処理場等の基礎的な運転維持管理について ○ 機器維持管理の必要性と実務について ○ 事業場排水対策の指導について
第3回	1月22日 1月23日	水質分析の基礎と簡単な実地研修 ○ 基礎的な水質分析について ○ 簡単な水質分析の実習

ウ 下水道排水設備工事責任技術者認定事業

平成10年度から県下29市町の要請を受け、下水道排水設備工事責任技術者を認定する試験業務を実施しました。

時期	内容
11月14日	試験実施（申込者：104名、合格者数：52名）

【下水道排水設備工事責任技術者有資格者数：平成25年3月31日現在 4,890名】

(2) 受託事業

ア 流域下水道の維持管理に関する業務

流域下水道施設（終末処理場及びポンプ場）の維持管理を実施しました。

(ア) 処理費用及び処理単価

		流入水量	処理費用	処理単価
北部 浄化センター	24年度	33,594,060 m ³	1,265,625,523 円	37.67 円/m ³
	23年度	33,127,160 m ³	1,228,382,843 円	37.08 円/m ³
南部 浄化センター	24年度	13,575,448 m ³	670,541,612 円	49.39 円/m ³
	23年度	12,793,911 m ³	646,289,429 円	50.52 円/m ³
雲出川左岸 浄化センター	24年度	8,805,118 m ³	555,826,873 円	63.13 円/m ³
	23年度	8,867,587 m ³	505,454,457 円	57.00 円/m ³
松阪 浄化センター	24年度	8,933,815 m ³	583,251,857 円	65.29 円/m ³
	23年度	8,597,232 m ³	537,791,841 円	62.55 円/m ³
宮川 浄化センター	24年度	3,943,382 m ³	380,379,771 円	96.46 円/m ³
	23年度	3,451,213 m ³	369,646,205 円	107.11 円/m ³
合 計	24年度	68,851,823 m ³	3,455,625,636 円	50.19 円/m ³
	23年度	66,837,103 m ³	3,287,564,775 円	49.19 円/m ³

注) 処理費用は、指定管理業務及び汚泥処理業務の合算額である。

(イ) 放流水質

平成24年度における各浄化センターの放流水質は、法令基準値を遵守し、良好な水質を維持しました。

		BOD(mg/l)	COD(mg/l)	SS(mg/l)	T-N(mg/l)	T-P(mg/l)	
北部 浄化センター	法令基準値	15.0	20	40	13	1.4	
	実績	最大値	4.4	15	25	10	0.9
		平均値	1.7	7.2	2	7.0	0.5
南部 浄化センター	法令基準値	10.0	20	10	10.0	2.2	
	実績	最大値	4.7	9.7	6	7.6	1.4
		平均値	1.6	7.6	2	5.1	0.6
雲出川左岸 浄化センター	法令基準値	15.0	100	40	18	1.6	
	実績	最大値	8.5	12	4	11	1.0
		平均値	3.9	7.9	2	7.4	0.4
松阪 浄化センター	法令基準値	15	100	40	10	1.0	
	実績	最大値	1.2	7.0	<1	9.4	0.5
		平均値	0.5	5.9	0	7.7	0.1
宮川 浄化センター	法令基準値	15	—	40	10	1.0	
	実績	最大値	2	8.6	2	8.7	0.7
		平均値	0.9	7.4	0	6.8	0.2

(ウ) 電力調達実績

		契約種別	契約電力 (kw)	調達量 (kwh/年)	電力費 (円)	燃料調整費 負担額 (円)
北部 浄化センター	24年度	特別高圧	2,700	16,306,110	222,372,915	22,862,542
	23年度		2,700	15,788,740	199,970,059	9,955,068
南部 浄化センター	24年度	高圧	1,250	7,538,210	108,566,505	10,813,402
	23年度		1,100	7,217,001	95,031,253	4,677,252
雲出川左岸 浄化センター	24年度	高圧	930	5,848,176	83,571,936	8,387,018
	23年度		930	5,918,460	79,139,964	3,759,031
松阪 浄化センター	24年度	高圧	840	5,372,629	76,434,769	7,679,262
	23年度		840	5,526,539	73,242,332	3,527,085
宮川 浄化センター	24年度	高圧	650	3,864,615	56,129,152	5,550,555
	23年度		650	3,654,598	49,387,505	2,433,700
合 計	24年度			38,929,740	547,075,277	55,292,779
	23年度			38,105,338	496,771,113	24,352,136

※ 燃料調整費負担額は、電力費の内数である。

(エ) 予防保全業務（修繕業務）実績

各浄化センターにおいて、当初計画した計画修繕（分解整備）及び突発修繕としての保全業務を行いました。

なお、主な内容は次のとおりです。

	内 容	金額（円）
北 部	員弁川幹線マンホールポンプ場汚水ポンプ分解点検工事	5,510,421
	A33・34 反応槽攪拌機分解点検工事	13,650,000
	No.16・13 汚泥脱水機分解点検工事	27,720,000
	A3 系終沈汚泥掻寄機等分解点検工事	16,590,000
	No.12 砂ろ過設備分解点検工事	10,500,000
	No.32 送風機分解点検工事	11,025,000
	No.11 重力濃縮槽汚泥掻寄機分解点検工事	10,993,500
	A 系 PAC 注入設備工事	10,657,500
南 部	No.2 重力濃縮汚泥掻寄機分解点検工事	7,359,450
	Ⅱ系反応槽水中攪拌機分解整備工事	14,227,500
	No.2 主ポンプ分解点検工事	23,798,250
	No.1～3 汚泥供給ポンプ分解整備工事	5,113,500
	No.3 砂ろ過器分解整備工事	6,720,000
	No.1, No.2 分水槽可動堰分解整備工事	4,410,000
雲出川 左岸	1-1号汚泥供給ポンプ、1-1, 1-2号重力濃縮汚泥ポンプ分解点検整備工事	6,976,200
	水処理1-3, 2-2号返送・2-2号循環・2系池排水ポンプ分解点検整備工事	7,665,000
	1号送風機設備、2号二次短絡ブラシ引上装置他分解点検整備工事	34,629,000
松 阪	スクリーンポンプ棟自動除塵機整備工事	5,775,000
	I系2池水中攪拌機分解整備工事	13,125,000
	I系4池水中攪拌機分解整備工事	5,250,000
	自家用発電設備点検整備工事	14,175,000
宮 川	No.1, 2 汚泥供給ポンプ他分解整備工事	24,990,000
	No.1PAC 注入ポンプ他分解整備工事	4,095,000
	No.1, 2 薬品注入ポンプ分解整備工事	3,262,350

イ 流域下水道汚泥処理業務

各浄化センターで発生する脱水ケーキは、ほぼ全量セメント原料としてリサイクルしました。

なお、しき汚泥の処分は焼却業者に処理を委託しました。(※ 全量＝県内処理)

		汚泥発生量		平均 含水率	脱水機 性能
		脱水ケーキ (しき混載含む)	しき汚泥		
北部 浄化センター	24年度	19,525.24 t	70.53 t	74.1%	78.0%
	23年度	19,729.37 t	69.46 t	73.4%	
南部 浄化センター	24年度	8,483.92 t	20.83 t	73.3%	78.0%
	23年度	7,919.45 t	4.78 t	73.2%	
雲出川左岸 浄化センター	24年度	5,980.60 t	—	73.8%	80.0%
	23年度	5,685.10 t	—	74.1%	
松阪 浄化センター	24年度	6,652.40 t	16.12 t	73.8%	77.0%
	23年度	6,486.02 t	4.46 t	73.7%	
宮川 浄化センター	24年度	2,981.24 t	5.90 t	74.7%	77.0%
	23年度	2,609.52 t	—	74.1%	
合 計	24年度	43,623.40 t	113.38 t		
	23年度	42,429.46 t	78.70 t		

ウ 普及啓発施設管理業務

中勢沿岸流域下水道松阪処理区高須町公園の維持管理業務を実施しました。

なお、同公園内における高須町公園オートキャンプ場の利用実績は、次のとおりです。

利用件数：1,081件（対前年比：105.9% 23年度：1,021件）

エ 普及啓発業務

下水道に対する知識の向上や理解を深めていただくため、浄化センターのしくみ等に関するパンフレットや啓発リーフレット及びポスターコンクール入賞作品パンフレットを作成して、浄化センター見学者やイベント来場者へ配付するとともに、7月21日(土)、22日(日)に鈴鹿山麓リサーチパークで開催された県主催イベント「Mie こどもエコフェア」へ県下水道課と共同出展するなどの普及啓発業務を実施しました。

【Mie こどもエコフェア】



〔下水道ミクロの世界〕

下水処理場で活躍する微生物を顕微鏡で観察



〔下水道教室〕

下水処理場の模型を使い、汚水（下水）がきれいになる仕組みを紹介